軍法周集十二全

ヤ 5
487
1 2
国文学研究資料館

侍用集巻第十二目録

一 氣之寒
二 大將出馬作法之事
三 鳴弦吉凶之事 附り名弦ひゞ手之事
四 落る吉凶之事
五 大將の弓折る
六 お薄乃時雨風吉凶之事
七 味噌はたまる
八 かこち吉凶之事 二ツ一ツ小符吉凶之事

九 気色と身の病と吉凶を知る事

十 腫物と身の方角吉凶を知る事

十一 旋吉凶し事 付り鞭固し事

十二 家の気二乃曜し事

十三 立気吉凶し事

十四 軍兵の色を乃く吉凶を知事

十五 有無の気を知る事

十六 気の消を乃く日を知る事

十七 胡子習し事

十八 ゆき相逢気し事

十九 当生気し事

二十 舞ひ子 吉凶し事

二十一 八陣気 吉凶し事

二十二 八陣習し事

二十三 敵の大将の姓を知る事

二十四 旗吉凶し事

二十五 犬の色吉凶し事

二十六 西事消散法し事

二十七 鷹利支天 大秘法し事

二十八 狐乃秘密法し事

二十九 口笛秘法之事
三十 出陣秘法之事
三十一 武士不負手得勝利秘法之事
三十二 義経秘法之事
三十三 人を留秘法之事
三十四 盗賊逃去を防ぐ術之事
三十五 吾陣より敵の不見術之事
三十六 首を捕り導く事
三十七 引導訣を説伏之事

侍用集巻第十二

氣之巻

第一 大将出馬之作法之事

一大将出陣の時。先祈禱立願して。軍着軍神を祭。氏運長久とのいのり乃至その法生ずるなり。扨大将は加冷寒をしてのちやうやうに袴肩衣をめさるべし。扨て太刀佩さて可然。此時も志てよろこぶといふ也。扨甲冑戎衣のものゝ向ふ方ふ立る。此内ふよりたゝよ立る時。馬ゟ向へ。其時成ぬへ。向せぬへ。

也又門をとぢ家方よりあくる。春方より建二本弓を矢よ
もせ立てそを甲を通し。秋なり門より出る也。是門をたが
角よりゆる也。秋なるよのり。二本三本あゆく虫くの気色
とすくむ也て立也。必すくそ也。ねうべ
第二　馬嘶吉山之事　付り弦ひぐ事

一大将の馬よくそをそ。そを時八吉事也。前の事ふ八凶也。其時八具足の一事をそ。毎方のものふ指。右のをみて弦を一つひぐ
ー。弓乃にぎりをたのもふ八凶也。紀をのくる。めいけん
か。そ親会ー。て。悪魔をとぢ身活をして事をもあるを
ひぐーて活。子のため國乃たなる家のためと念す。急めい

けんをひぐー。急て弦をそぐ時八幡大菩薩と一返
唱へ。若すそぐの時も常の事
細みそおのこくすそ馬の服等もあをすく他名弦
よむふ角そ方八歌方成へ
第三　義馬吉凶之事
一大将るを家出一二三町よりうちの高る大凶也他方へ高る
吉。左右高る不吉。大将て
もよりの廻ぞて左より可乗
第四　大将の弓打事
一左右の弓の弦をそたるをハ。ふく不凶。乃もうち行のをそ
を大凶。必打たる時ハ。新弓ふ陰陽の矢をそへ。八幡の宮殿ふ

務初会すべし

第五　尘陳の時逆手の風八吉事也向風を凶へし　尘陳三日より中ゟ後のふくを凶。ゆくさきより向ふのふくを凶へし

第六　味方にたゝけつく事

尘陳の時たゝけつくるハ深可慎。たゝけと八客の事ゟぎさごや也。さる時墓目を射て早く退るハくるしからず

第七　かこりの吉凶し玄

一大将尘陳の人数よりかこりのあるハよし。のくすを凶。ゟのやうなるハ引ぐるそうなる雑ふせゆゑ也。囚あとをかこうなだるゝ也凶。かこり人数のおとる吉。人数のまさるあり

まにて酔ものゝ口のごとくさゝりくとしたるハ必大負ゟ又敵味方たゝかんとする時。味方の勢よりまさる所へかゝりさきにせより吉。敵ゟかゝりさきにせより吉凶之事

第八　小将吉凶之事

一風もあめふ。小将うごきさる事ハ大凶之徴

第九　血気を以身の吉凶を知玄

一軍兵のごとく血気。天ゟも不行地ゟも。中ゟ死火のごとくみなくとゞもに経ゟも空角ゟも血のごとくなれる気ゟ攻可玄

第十　脉を以吉凶を知玄

動脉を按ずるに。一ところにとゞまらず。左右をとうくべし

第十一　旋の吉凶支傳

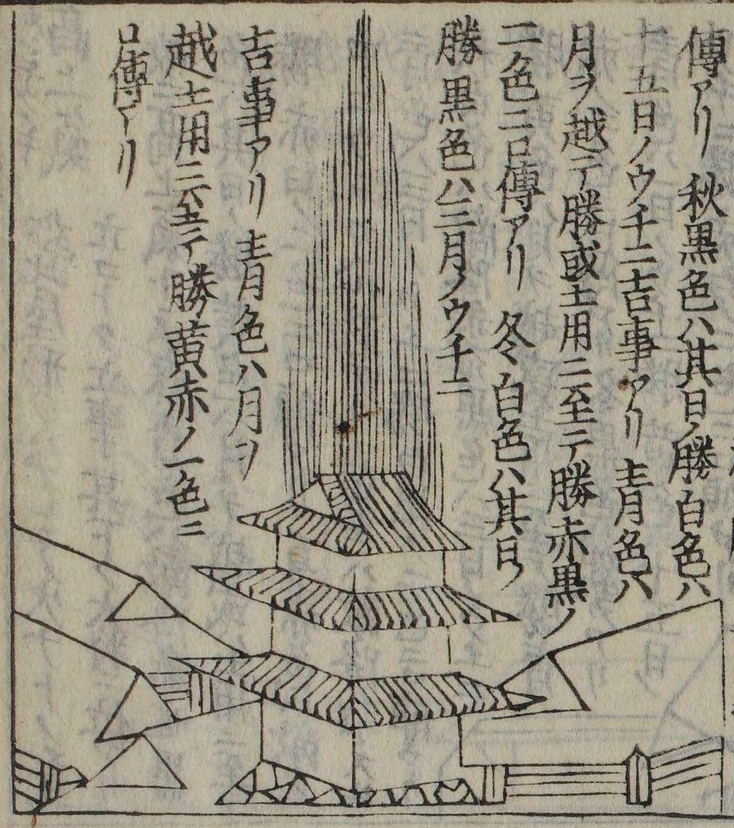
旋舞祥の先ざゝるを凶とす。いつれも先あざりきたりて吉とすべし又もち人舞ハさゝきの打ちを凶。打ハ不凶。しかし圍旋も同糸なりさゞ打ちを凶。さゝきの打ハ不凶。

第十二　寒の氣三の勝支

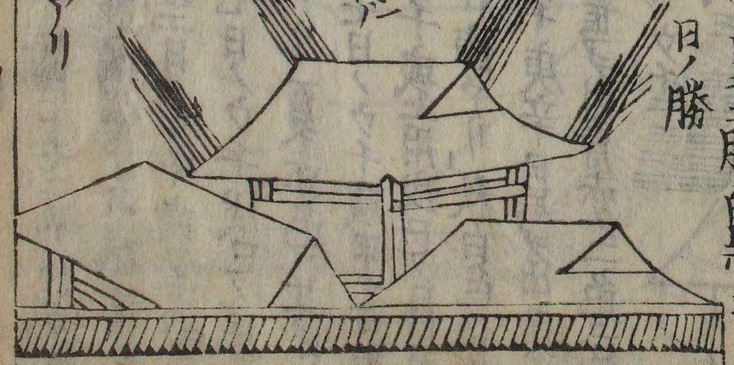
一氣をうんるの。燃又ハ多をうんるの勝也。仍て應をうんるの処一知死期の象ハ吉。終に卒ると云也。是時を以知と云也一曰律氣陰陽氣ハ勝負。陽氣ハ勝也

第十三　立氣吉凶之事

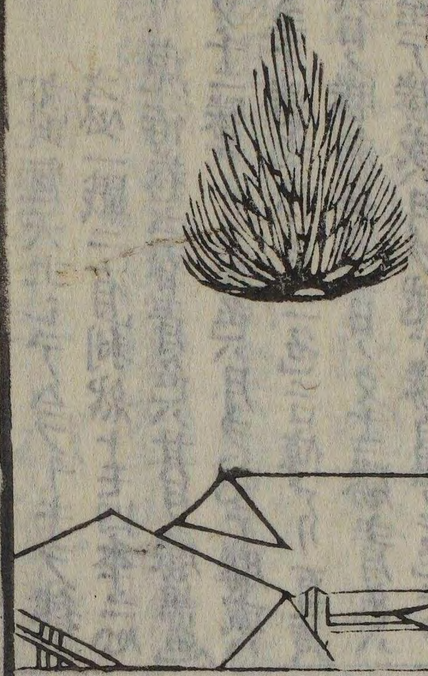
律氣　如此煙天上レテ△ラナキヲ律ト云必一戰二有利然トモ四季ニ心得アリ虎侍巻云春青色ハ其日ノ勝黒色三日ノウチ二勝アリ黄色ハ月ヲ越テ勝或ハ土用二至テ勝也赤白ノ二色ニ傳アリ夏黄色ハ其日ノ勝赤色ハ三日ノ内ニ勝青色ハ土用二至テ勝或ハ月ヲ越テ勝白黒ノ二色ニ傳アリ秋黒色ハ其日ノ勝白色ハ十五日ノウチニ吉事アリ青色ハ月ヲ越テ勝或土用二至テ勝赤黒ノ二色ニ傳アリ冬白色ハ其日ノ勝黒色ハ三月ノウチニ吉事アリ青色ハ月ヲ越土用二至テ勝黄赤ノ二色ニ傳アリ



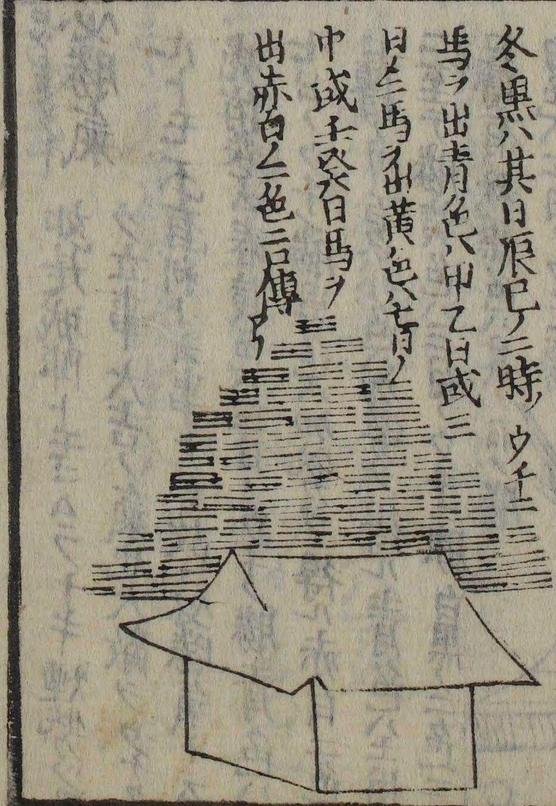
必勝氣　如是城陣上モ三ムラナキ煙勢ヲ当ク立事大吉ノ氣也大敵ヲ攻ルトモ不百利トス事ナシ故ニ必勝氣十云虎侍巻云春黄色ハ三日ノウチノ勝青色ハ七日ノウチノ勝黒色ハ加勢ヲ得ル赤白ノ二色ニ傳アリ夏赤色ハ加勢ヲ得ル青色ハ土用二至テ勝黄色ハ三月ノウチニ勝白黒ノ二色ニ傳有秋黒色ハ其日ノ勝白色ハ七日ノウチニ勝青色ハ月ヲ越テ勝或土用二至テ勝黄赤ノ二色ニ傳アリ冬青色ハ月ヲ越テ勝白色ハ七日ノウチニ勝黄色ハ月ヲ越テ勝或土用二至テ勝黒色ハ敵三日ノウチニ降参スル赤色ニ傳アリ



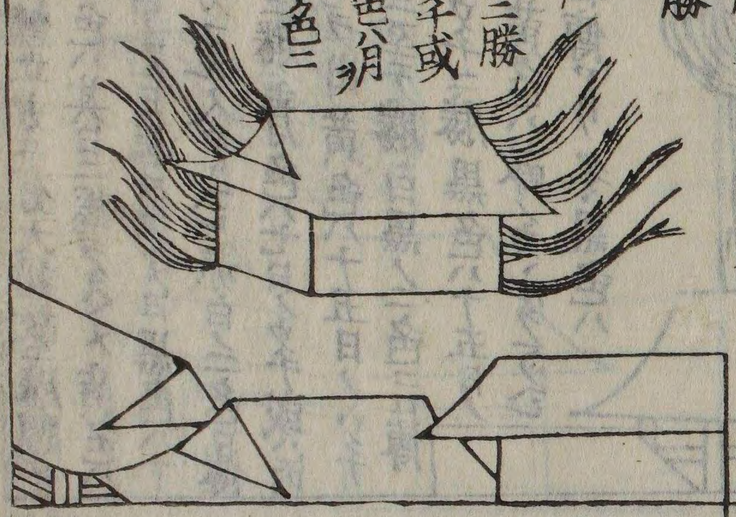
△ 口 ○ 口 △ 口 ○



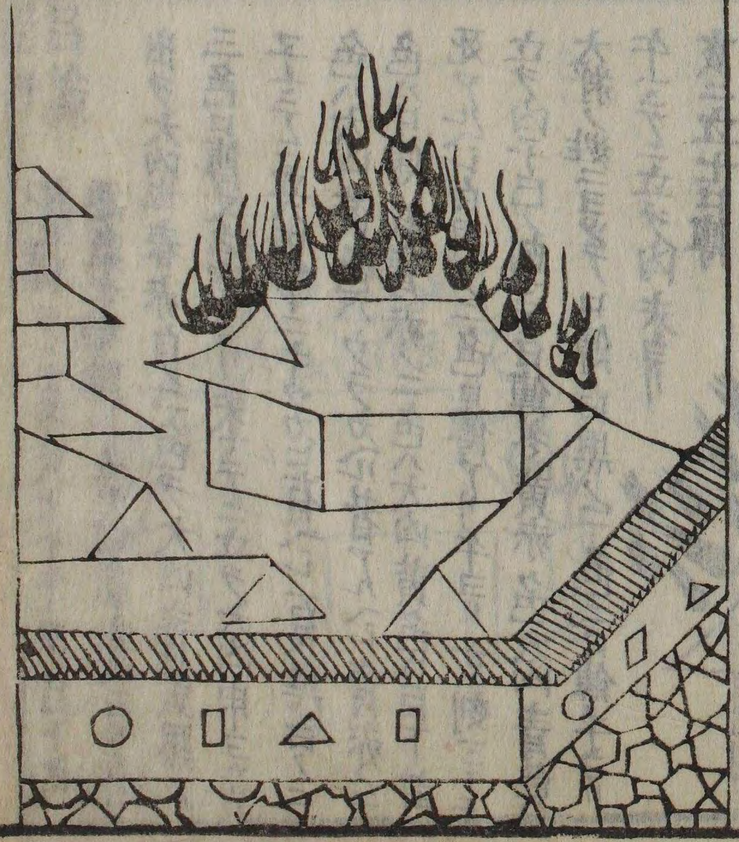
カンキノキ
高上氣　如此屋形ノハナレテ火ナトノモエ立コトク立事其下ノ大将三位アリ故ニ高上氣ト云春青色ハ敵降参也黒色ハ其日ノ勝黄色ハ月ヲ越或主用ニ至テ勝赤ノ二色ニ口傳アリ夏赤色ハ敵ノ勝赤白ノ二色ニ口傳アリ夏赤色ハ敵ノ中ニウヲカヘルナリ黄色ハ敵降参スル青色ハ二日ノウチ千ニ勝白黒ノ二色ニ口傳アリ秋白色ハ敵降参ス黒色ハ三日ノウチ二勝黄色ハ月ヲ越或主用ニ至テ勝青赤ノ二色ニ口傳アリ冬黒色ハ敵ナリ青色ハ一日ノウチ二勝黄色ハ十五日ノウチ二勝赤白ノ二色ニ口傳アリ



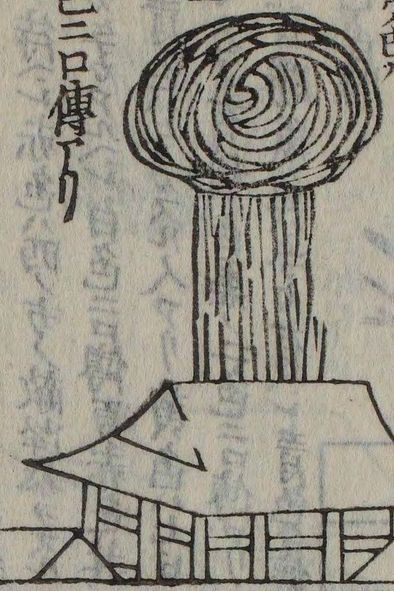
シンハノキ
進馬氣　如此煙立ハ城陣ナモニ早旗ヲ出テ有利故ニ進馬氣ト云春青色ハ其日ニ馬ヲ出黒色ハ三日ノウチ千或ハ壬癸ノ旦ニ至テ馬ヲ出黄色ハ七日ノウチ戊巳ノ日馬ヲ出赤白ノ二色ニ口傳アリ夏赤色ハ其日七刻ニ馬ヲ出青色ハ七日ノウチ或甲乙日馬ヲ出黄色ハ十五日ノウチ或壬用戊巳ノ旦ニ至テ馬ヲ出白黒ノ二色ニ口傳アリ秋白色ハ其日馬ヲ出黒色ハ三日ノウチ庚辛日馬ヲ出青赤ノ二色ニ口傳アリ冬黒ハ其日辰巳ノ二時ノウチニ馬ヲ出青色ハ甲乙日或ハ三日ノ旦ニ馬ヲ出黄色ハ壬癸日ノ中或壬癸日馬ヲ出赤白ノ二色ニ口傳アリ



ワウノキ
王位氣　此氣煙氣也立方ノ將必大利ヲ得ル春青色ハ其日馬ヲスムヘシ黄色ハ敵ノカヘルヲ待ヘシ赤色ハ西ノ方ノ敵降参ヲスル黒色ハ大勢与カアルヘシ白色ニ口傳夏赤色ハ其日有大利青月色ハ与カスル人アリ黄色ハ七日ヌニ馬ヲスヽメテ有利白黒ノ二色ニ口傳アリ秋白色ハ其日勝黒色ハ与カ有ヘシ青色ハ傳黄色ハ戊巳ノ日勝

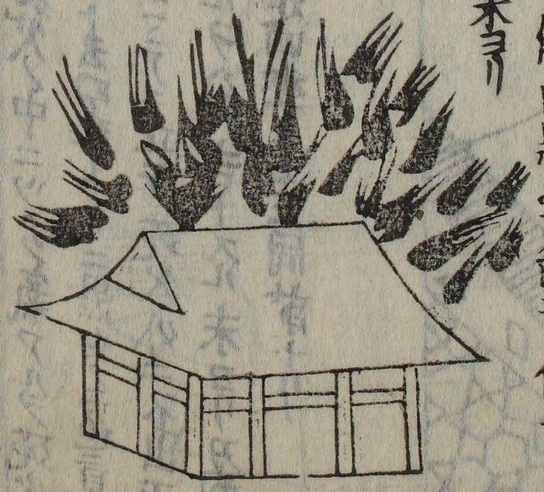


シヌハノロウキ
死火王氣　如此死火ノ中ニツヽノ氣アルヲ死火王氣ト云四季ト毛ニ黒白ノ二色見但寅ヨリ午刻ニテ立テ死火外ニヌケ出王氣上ニ立ノホルヲハ大吉トスル未ヨリ丑刻ニテ立ニ口傳是四季上毛ニ同前ナリ

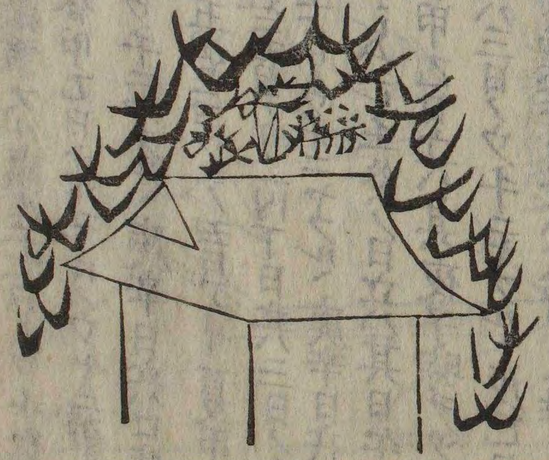


勝闘氣　如此ノ煙立方ニ有大刹故ニ勝闘ト云
春青色ハ其日ニ馬ヲスヽメ黄色ハ
三百七日ノウチ千甲乙日馬ヲスヽメヨ黒色ハ十
五日ノウチニ与カスル人アルヘシ赤白ノ二色ヨリ傳
夏赤色ハ其日ニ勝　青色ハ七日ノウチ或ハ丙
丁ノ日ヲ待テ馬ヲ出　黄色ハ十五日ノウチ
戊己ノ日或ハ用ニ至テ勝　白黒ノ二色ニヨリ傳
秋白色ハ二日ノウチニ勝　黒色ハ十五日ノ
ウチニ加勢来ル　黄色ハ敵ノカヽルヘシ
青赤ノ二色ニヨリ傳アリ　冬黒色ハ
其日勝　青色ハ
与カアルヘシ
白色ハ月ヲ
越或ハ用ニ
至テ得利
黄赤ノ二色ニヨリ傳アリ

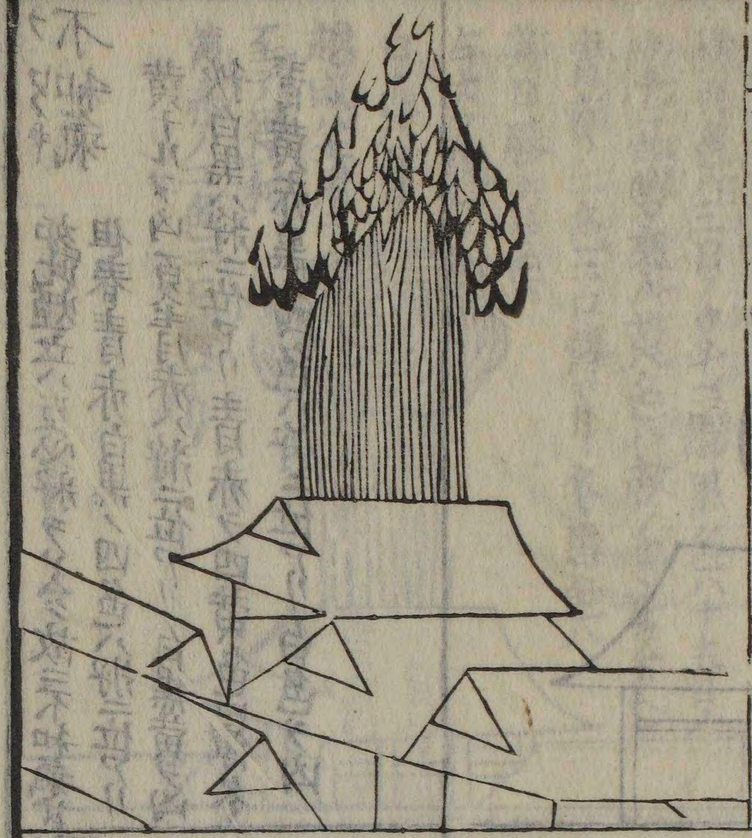
リョキ
呂氣　如此煙ツヽカズ天上ヘキヲ呂ト云
悪氣也　城陣ヨモニ此氣カヽヘヨリ外
出ヲ大凶也　春赤白ノ二色ヲ大凶　青黄黒ノ
三色ヨリ傳又云寅ヨリ未ニテ二立ヲ大凶　申ヨリ
子ニテ二立ハ臣下ニキヲカヒ有ヘシ　夏黒白ノ二
色ハ大凶　黄色ハウラカヘル者アルヘシ　青赤ノ二
色ハヨリ傳　秋青赤ノ二色ハ大凶　黄色ハ臣下討
死アルヘシ　白黒ノ二色ヨリ傳アリ　午ヨリ亥ニ刻ニテ二
立ヲ凶子ヨリ刻ニテヨリ傳　冬黄赤　色大凶　青色
大将ノ姓ヨツテヨリ傳　白黒ノ二色ニヨリ傳　子ヨリ
午ニテ二立ヲ凶　未ヨリ
亥ニ立ヨリ傳



不和氣　如此煙立ハ臣必将ヲノ〳〵故ニ不和氣ト
但春青赤白黒ノ四色ハ将三位アリ
黄ナルヲ凶夏ヨリ月赤ハ将三位アリ白黒黄ヲ凶
秋白黒ハ将三位アリ　青赤ヲ四黄色ヨリ傳冬
青黄赤黒ノ四色ハ将三位アリ白色ヲ凶

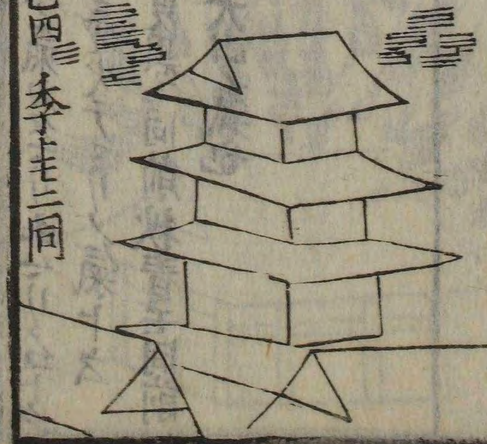


死火手勢氣　如此死火ノ氣カタヽリ生ヽリムヒノ
見ユル故ニ死火ニテヽリノ氣ト云
春白ハ其日ニ破　夏黒モ同前　秋青モ同前
冬赤モ同前何モ大凶ノ氣也



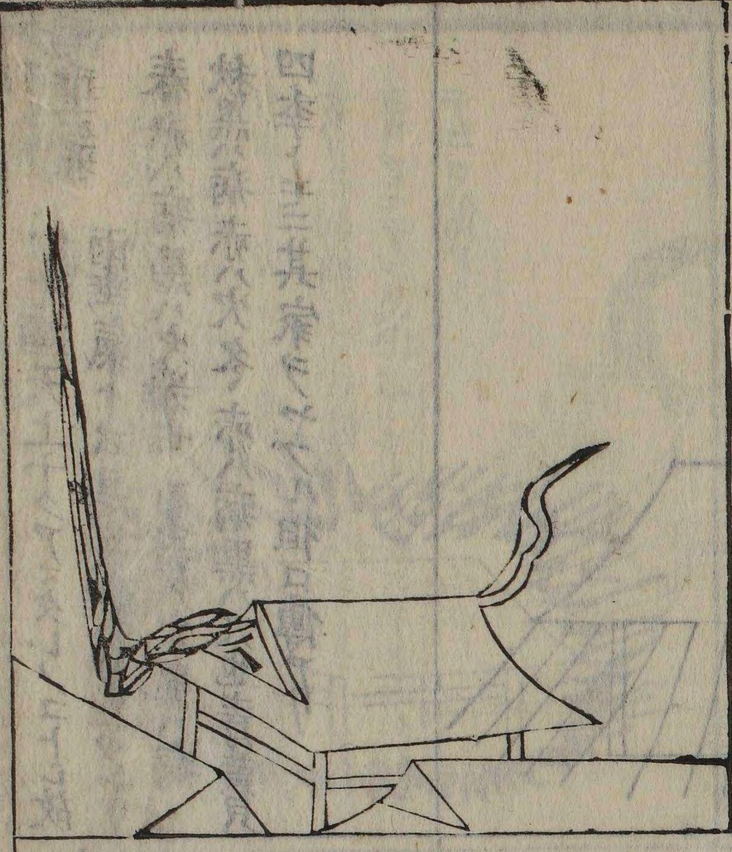
三重ノ氣　如此未死火ニテ本律氣スル故ニ重ト云氣ト云ヒ重ト云氣ト云ヒ本律ニテ未敗軍スル事三七日ノウチ也故ニ破陣呂スルハ凶未律ニテ本呂ナルハ不凶也但寅ヨリ午刻三テ立ハ必城陣ト云ヒ破事三七日ノウチ午リ未ヨリ亥ニ三ノハ大將心不定故味方ヲモ知ヒス或ハ大將ヲウクル子丑ノ二時ニ口傳アリ名ハ四季ト云ヒ黒白也

破陣氣　如是ムラタツ煙ノ天上十キハ城傳ニ敗軍スル事三七日ノウチ也故ニ破陣氣ト云ヒ春甲乙日立ハ二日ノウチ破ル丙丁日立ハ七日ノウチニヤブル、庚辛日立ハ口傳壬癸日立ハ大將ノ五姓ニヨツテノ日アリ夏甲乙日立ハ大將ノ五姓ニヨツテノ日アリ丙丁日立ハ三日ノウチニ破ル戊己日立ハ七日ノウチニヤブル、庚辛日立ハ十五日ノウチヲヲニレムヘレ壬癸ノ日立ハ其日午刻ヲツニレムヘレ秋甲乙日立ハ其夜子時ヲツニレムヘレ丙丁日立ハ三日ノウチニヤブル、戊己日立ハ七日ノウチヲヲ凶庚辛日立ハ大將ノ五姓ニヨル壬癸日立ハ口傳



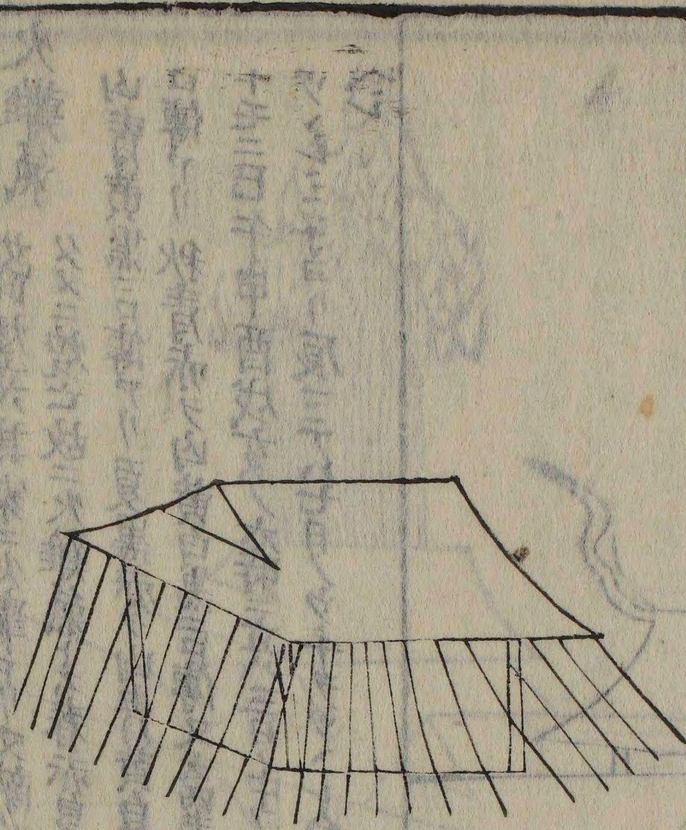
冬甲乙日立ハ口傳

丙丁日立ハ七日ノウチニヤブル、戊己日立ハ大將ノ五姓ニヨル庚辛日立ハ口傳壬癸日立ハ五日ノウチヲツニレムヘレ色四季ト云ヒ同



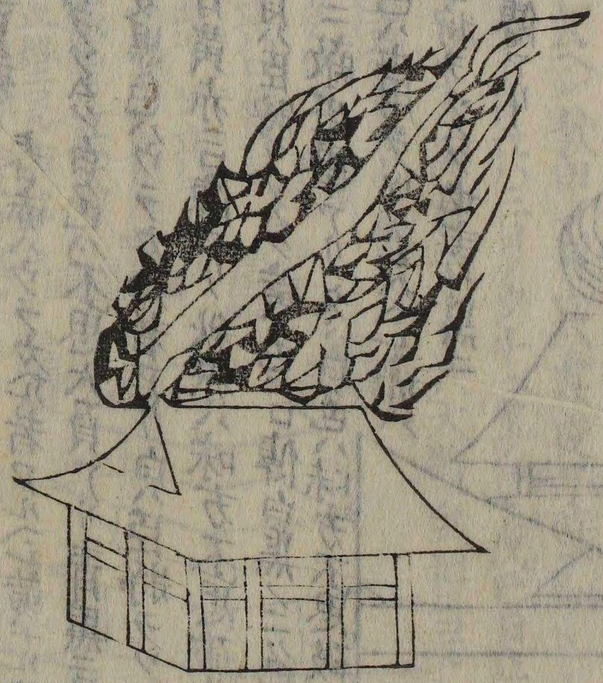
火難氣　如此煙立ハ其家ニ火事アリ又敵ノタメニ燒亡故ニ火難氣ト云春赤ハウラカヘル者アルヘシ黄ナルハ臣將ヲソムク白色ハ不思大負アリ青黒ニ口傳アリ秋青赤ヲ凶青黄黒ニ口傳アリ夏黒赤ヲ凶青黄白黒ニ口傳又ハ四季ト云ヒ三巳午申酉戌亥ノ六時ニ立ハ三日ノウチヲツニレミ子ヨリ辰ニテハ七日ノウチヲツニレムヘシ

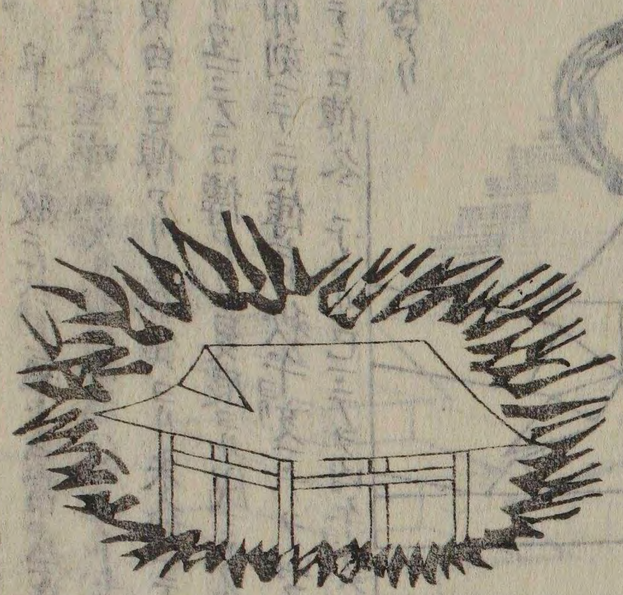
口舌氣　如此煙立ハ必味方ニ論アリ故ニ口舌春赤ハウラカヘル者アルヘシ黄ナルハ臣將ヲソムク白色ハ不思大負アリ青黒ニ口傳アリ夏黒色ハウラカヘル者アリ白ハ臣將ヲツムク青黄赤ニ口傳アリ秋赤ハ味方不思破ナリ青ハ臣將ヲソムク黄色ニ口傳白黒ノ二色ハ其日ニ敵來事アリ冬ハ白色ハ味方不思破黄色ハ士用ヲツニレムヘシ赤ハ臣將ヲソムク也青黒ニ口傳アリ



ウスイノキ
雨垂氣　如此煙天上十クアニタレノコトレ故ニ雨垂氣ト云是災難病ノニツナリ
春赤ハ病黒ハ火難也　夏赤ハ火黒ハ病
秋黒ハ病赤ハ火冬ハ赤ハ病黒ハ火也青黄貝
四季トモニ其家ヲヤブル但口傳アリ

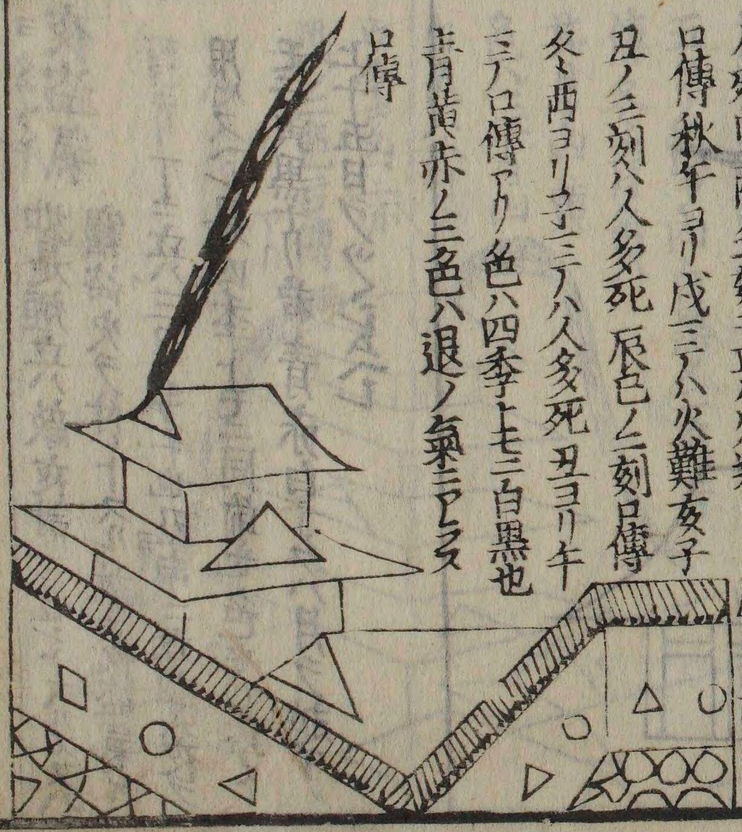
フキ
布氣　如此ツヾカサル煙ノモヤニヌノヲハエタルコトクニ見ルヲ布氣ト云春赤貝
臣將ヲソムキ黄ナルハ軍ニ利ナレ青黒ノニ
色ニ口傳アリ　夏秋ハ口傳多　冬ハ黄赤ノニ
色ヲ凶青白黒ノ三色ニ口傳アリ

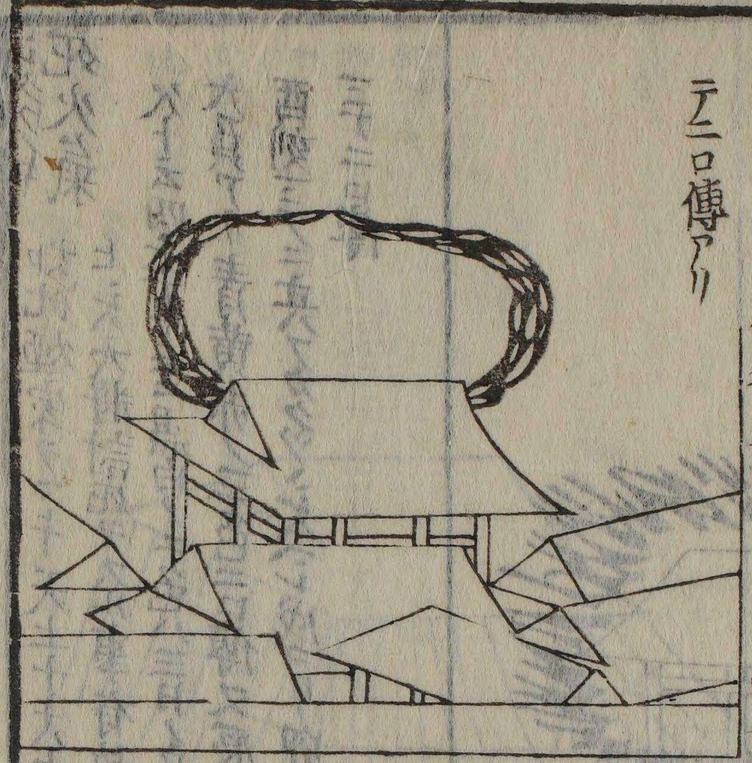




シクワイキ
死火氣　如此煙家ヲニキ天上十キハ大凶ヒニ大將討死ヲスル事有故死
ハト云四季トモニ黒白ノニ色ハ三日ノウチニ
大負アリ青黄赤ノ三色ニ口傳又辰ヨリ
酉刻ニテニ兵ハフカクツヽ云ヘレ戌ヨリ卯刻
三テニ口傳

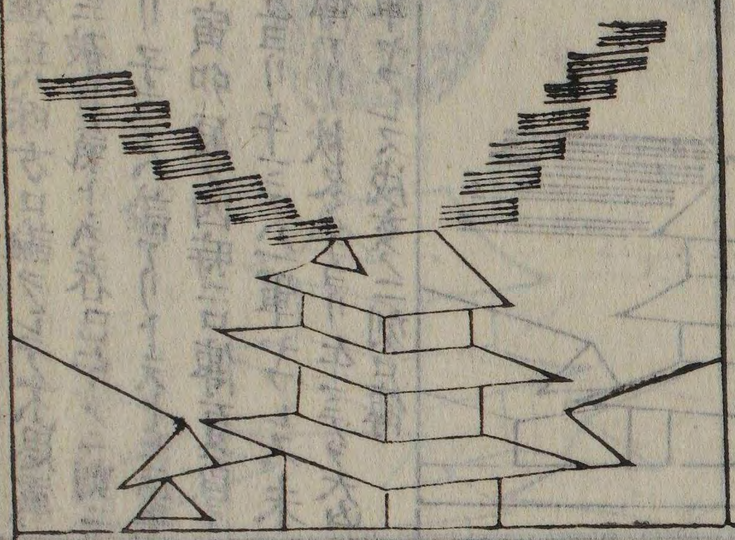
タイキ
退氣　如此城陣トモニ棟ヨリ如キ煙立ハ
其下ヲ早ク去ヘレ故ニ退ノ氣ト云
若其下ニ長居ハ大難ニ逢ヘレ多分ハ火事モ
アリト云春寅卯ノニ刻ニ立ハ其家人多死
辰巳午ノ三刻ハ火難アリ未申ノ二刻ハ口傳
四ヨリ子ニテハ火難アリ夏辰ヨリ未ニテハ
人死申酉ノ二刻ニ立ハ火難アリ戌ヨリ子ニテ
口傳秋午ヨリ戌ニテハ火難亥子
丑ノ三刻ハ人多死　辰巳ノ二刻口傳
冬酉ヨリ子ニテハ人多死　丑ヨリ午
ニテ口傳アリ色ハ四季トモニ白黒也
青黄赤ノ三色ハ退ノ氣ニアラス
口傳



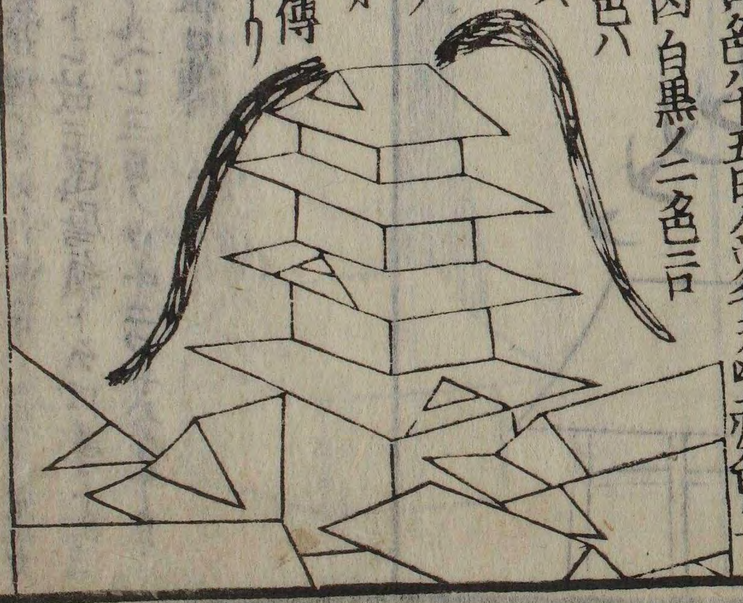


兵動氣　如此煙兩方ヨリ行ワヒタル人不思軍早立ヘシ故ニ兵動氣ト云常ニ立其家ノ主人喧嘩ヲスル也黒赤ハ四季ト七ニ凶青黄白ニ口傳アリ春寅ヨリ未ノ刻ニテ凶申ヨリ丑ニテ口傳アリ夏辰ヨリ戌ニテ凶亥ヨリ卯刻ニテ口傳有　秋午ヨリ亥ニテ凶子ヨリ巳ニテ口傳冬　子ヨリ巳ニテ凶午ヨリ亥ニテ口傳アリ

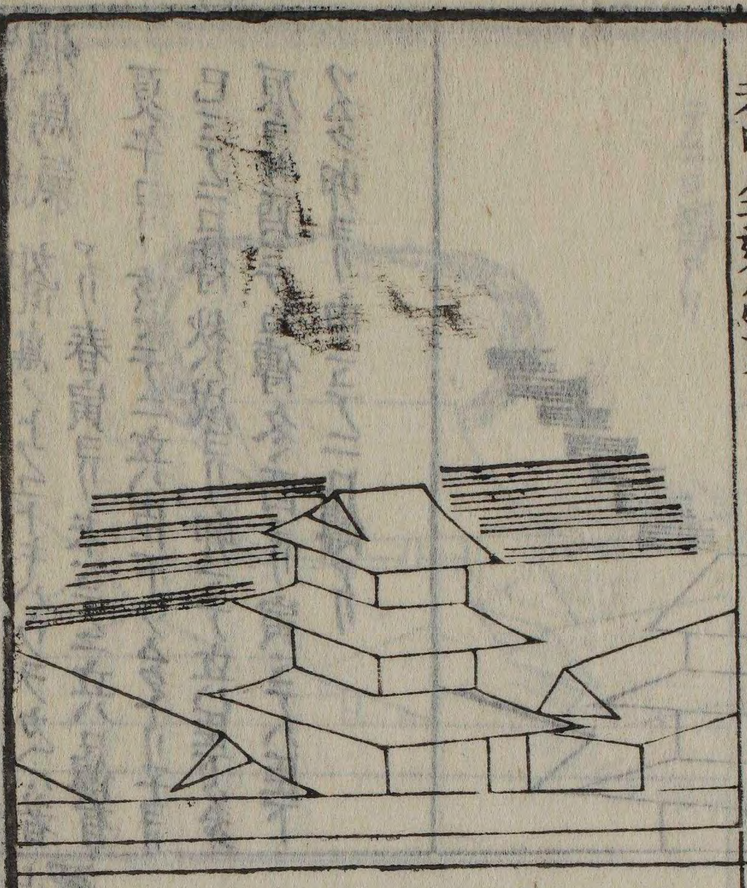
夜盗氣　如是煙立ハ敵夜討ニヨセントスルカスハ竊盗火ヲ付ントスル故ニ夜盗氣ト云常ニ立ハ三日ノウチ也丑申ニ立ハ其夜ノ用心スヘシ是四季ト七ニ同前也色モ四季ト同モ三黄黒ナリ若　青赤白ナラハ八月ヲ越テ十五日ヲツクシスヘシ



飛鳥氣　如此煙ノ上ノコトキハウラカヘル者アリ春寅ヨリ未ニテ凶ハ口傳有　夏午ヨリ亥ニテ凶ハ臣下ソムクナリ子ヨリ巳ニテ口傳　秋戌ヨリ卯ニテ立ハ臣下ソムク辰ヨリ酉ニテ口傳　冬酉ヨリ寅ニテハ臣下ソムク卯ヨリ申ニテ口傳アリ

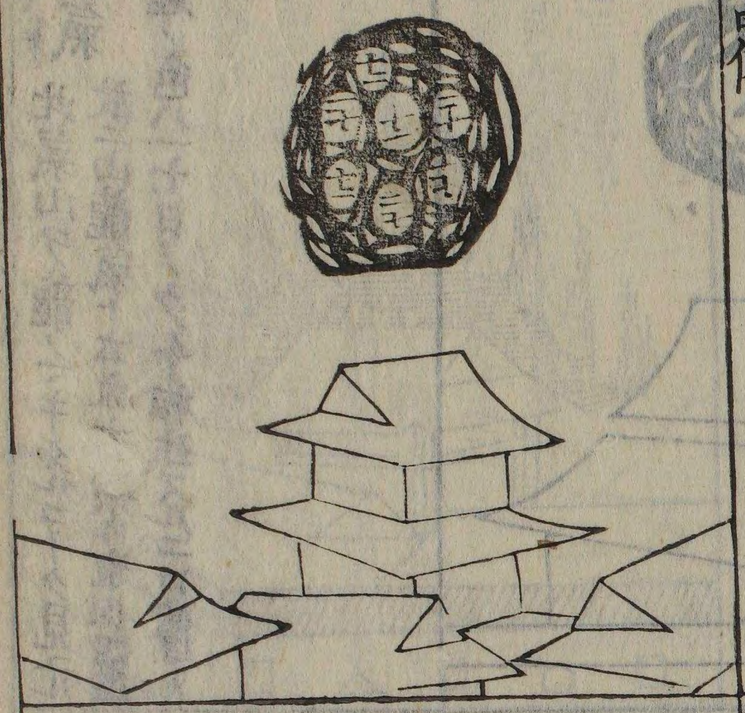


死氣　如此煙地ニハクハ大將討死ノ氣也是死氣ト云必戦ヲツヽシムヘシ春赤色其日ヲ凶白色ハ三日ノウチヲ凶黄色ハ三日ノウチヲ凶黄色ハ其日巳午ノ二刻ヲ凶青黒ニ口傳夏黒ハ三十日ノ間ヲ凶黄色ハ其日ハカリヲ凶白色ハ酉ヨリ子刻ニテヲ凶青赤ニ口傳アリ秋青色ハ其日ヲ凶黄色ハ十五日ノウチヲ凶赤色ハ十五日ノ後ヲ凶白黒ノ二色ニ口傳冬青色ハ其日ヲ凶黄色ハ三十日凶白色ハ三日ノウチヲ凶赤黒ノ二色ニ口傳アリ

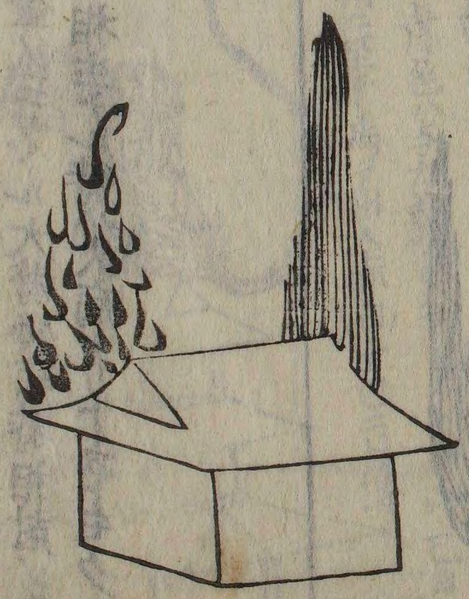


ハエンノキ 如此煙立ハ味方ロ論ヲシテ不思軍ヲ
破身氣 破故ニ破身氣ト云春巳午ノ二刻ニ
立ハ大凶未ヨリ子ニテハ論アリトイヘトモ二軍
ヲヤブラス丑寅卯辰ノ四時ニロ傳夏酉ヲ
子ニテハ大凶丑ヨリ午ニテハ二軍ヤブレス未
申ノ二刻ニロ傳アリ秋冬子ヨリ午ニテハ大凶
未申ノ二刻ハ軍ヤブレス戌亥ノ二刻ロ傳

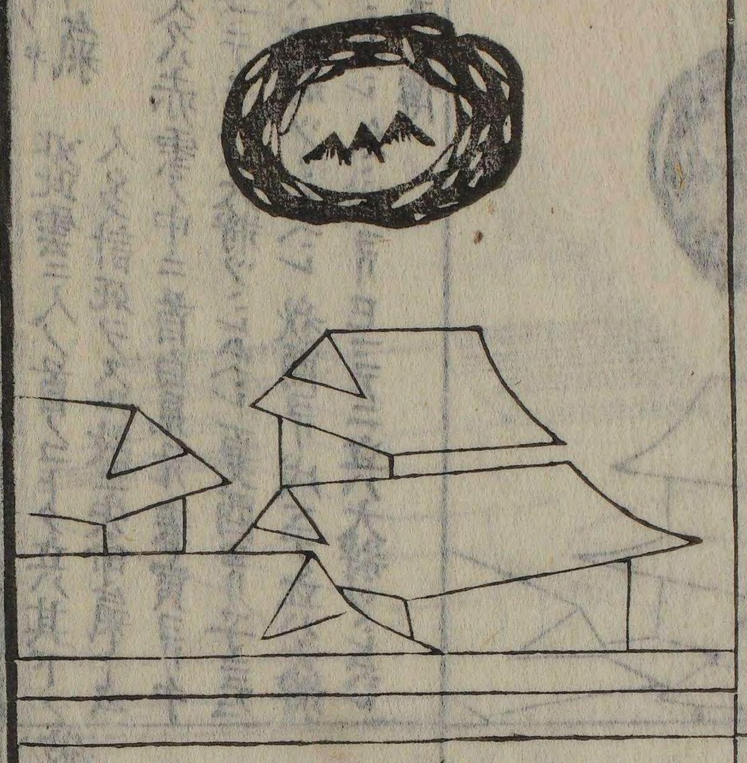
エンゾンノキ
遠鳥氣 如是煙ノカタチ雲井ノ鳥ヲ見ルカ
コトシ故ニ遠鳥氣ト云四季トモニ
色ハ白黒ナルヘシ三日ノウチニワサハイアリ
ツヽシムヘシ但ロ傳



シツイノキ
失命氣 如此雲ニ人ノ首ノコトクナル立ハ其下ノ
人多ク討死ヲスル故ニ失命氣ト云
多クハ赤雲ノ中ニ首白見ユル春寅ヨリ午
刻ニテニ立ハ大將ツヽシムヘシ夏酉ヨリ子ニ
立ハ大將ツヽシムヘシ秋酉ヨリ戌ニテ立ハ大將
ツヽシムヘシ冬戌ヨリ巳ニテニ立ハ大將ツヽシム
ヘシ但ロ傳

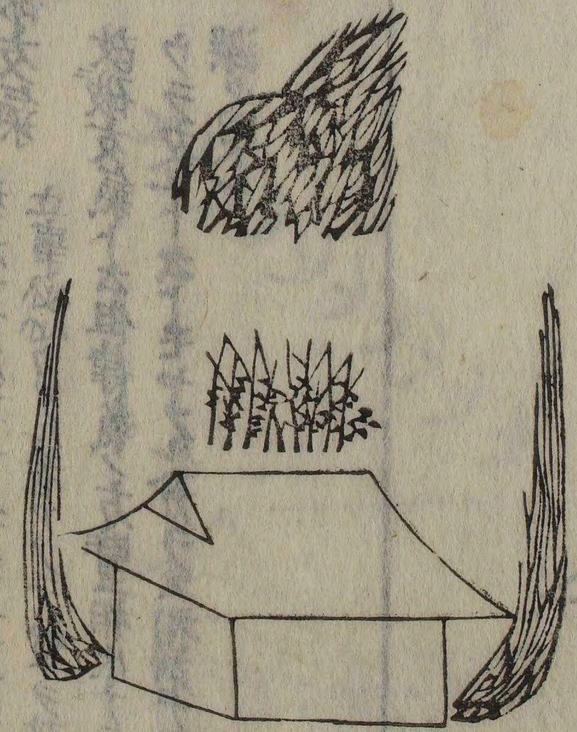


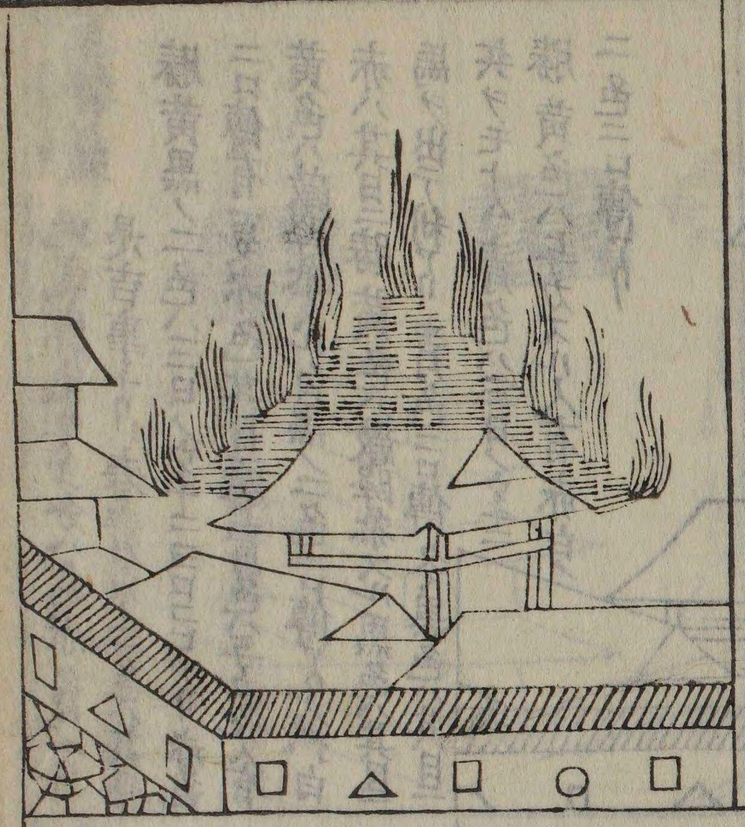
ハユウノキ
破友氣 如是一方ハ天上ノ律氣一方ハ延喜
立事必心カワル者アツテ軍ヲ破ル
故破友氣ト云但律氣ノ方時ニ相生ナラハ
ウラカヘルトイヘトモヤブレカラス相剋ナラハ
深ク凶ヘシ



サンリュウノキ
山龍氣　此氣山ヲ龍ノ、キタルコトク見ユル故ニ山龍氣ト云立方破ル也但四季相尅ノ色ハ一七日ノ内千相生スル二口傳アリ

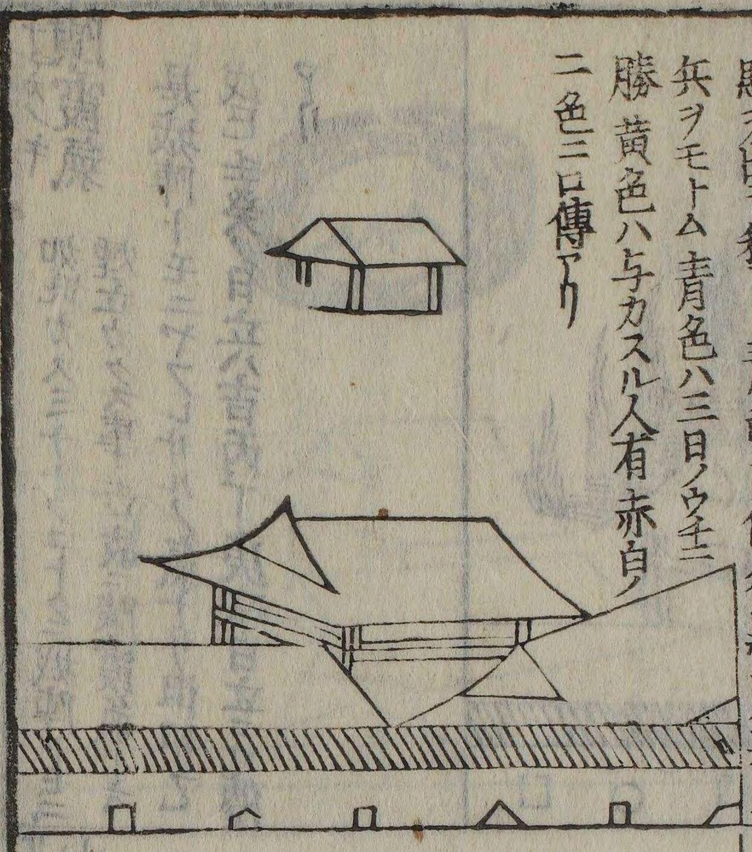
サンダンノキ
三段氣　雲三角ニ立火ノトフカコトシ壁二色ニワカツ故ニ三段氣ト云是ヲ火水金ノ三ツト云大將必病時相尅ノ色ハ絶命相生ナル時ハ大病ナリトスルトモクルシカラス





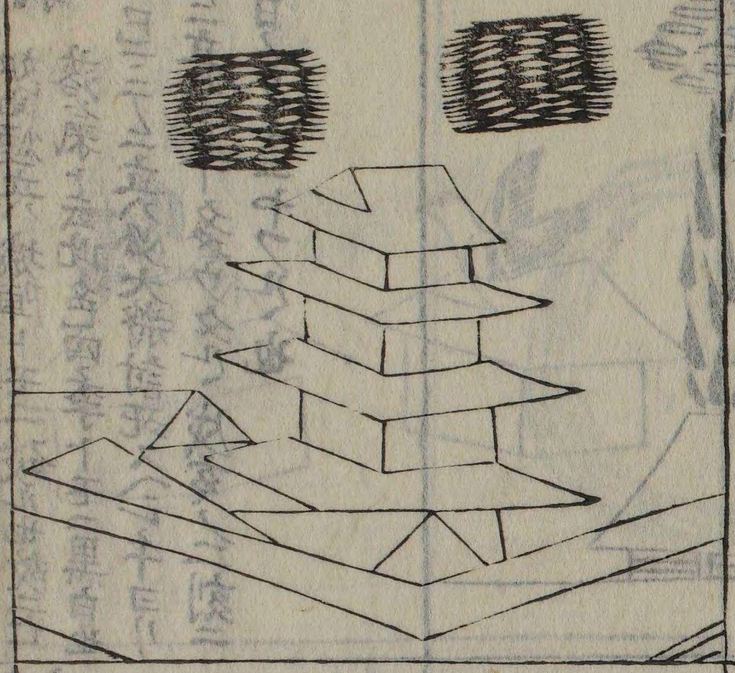
ナンカノキ
陳霞氣　如此カス三十ト、コトク之城陣ト云煙立カクス事吉故ニ陳霞氣ト云是城陣ト云ニヤフレサルノ氣ナリ但甲乙戊己壬癸ノ日立ハ吉丙丁庚辛日立ハ凶ナリ

サンコノキ
山虎氣　此氣多分ハ色黄ニテトラノカタチノコトク見ル故ニ山虎氣ト云此氣立ハ土平大將ノ方ヨリ三氣ヲハケシテキホニサカンナリ但春青色ハ馬ノ出テ有利黄色ハ敵降参ヲスヘシ黒色ハ与カタルヘシアルヘシ赤白二色ハ半吉也夏黄色ハ其日一馬ノ出而モ敵東ニアル時ハ巳午ノ二刻ニ可戰赤色ハ加勢スルヘシ秋白色ハ半吉白黒ノ二色ニ口傳秋白色ハ其日ノ勝アリ黄色ハ与カスルヘシアリ青色ハ半吉冬黒色ハ敵降参青色ハ与カ黄色ハ三月ノ内千戌巳日或ハ土用ニ至テ馬ノ出ヘシ赤白二色ニ口傳



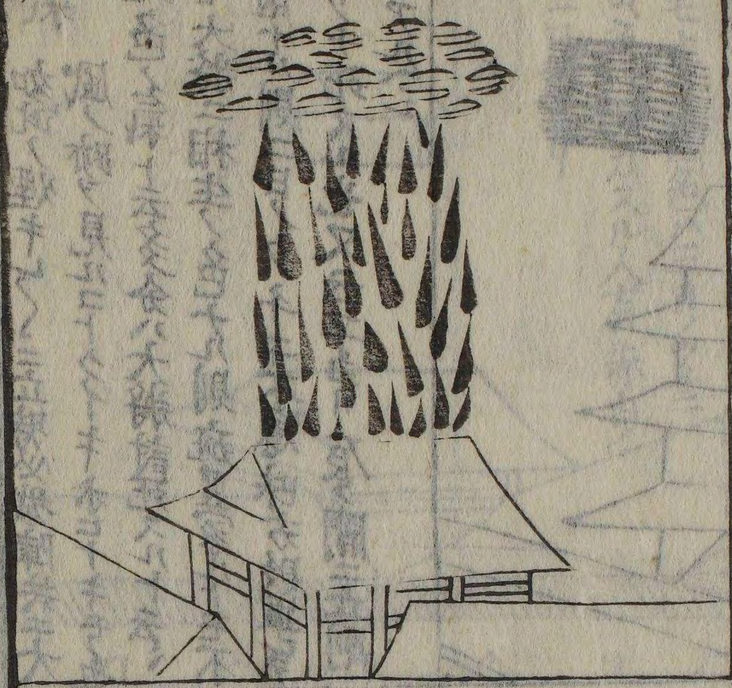
ヤタイノキ
屋舍氣　此氣雲氣也多分ハ色赤ク見ユル是吉事ナリ春青白ノ二色ハ其日勝黄黒ノ二色ハ三日ノウチニヨロコビアリ赤色ニ日傳有夏赤色其日勝青色ハ与カスル人有黄色ハ敵降参スル白黒ノ二色ニ日傳アリ秋白赤ハ其日ニ勝黄色ハ敵降参スル黒色ハ其日ニ馬ヲ出テ利アリ青色ニ日傳冬黒色ハ其日ニ兵ヲモトム青色ハ三日ノウチニ勝黄色ハ与カスル人有赤白ノ二色ニ日傳アリ

ダンセンノキ
團扇氣　此氣雲氣ナリ是春青色吉黒色ハ与カタスル人アルヘシ黄赤白ニ傳夏赤色ハ其日ニ勝黄色ハ七日ノウチ戊己白ニ勝白色ハ敵降参青月黒ノ二色ニ日傳又秋冬立ニハ日傳アリ



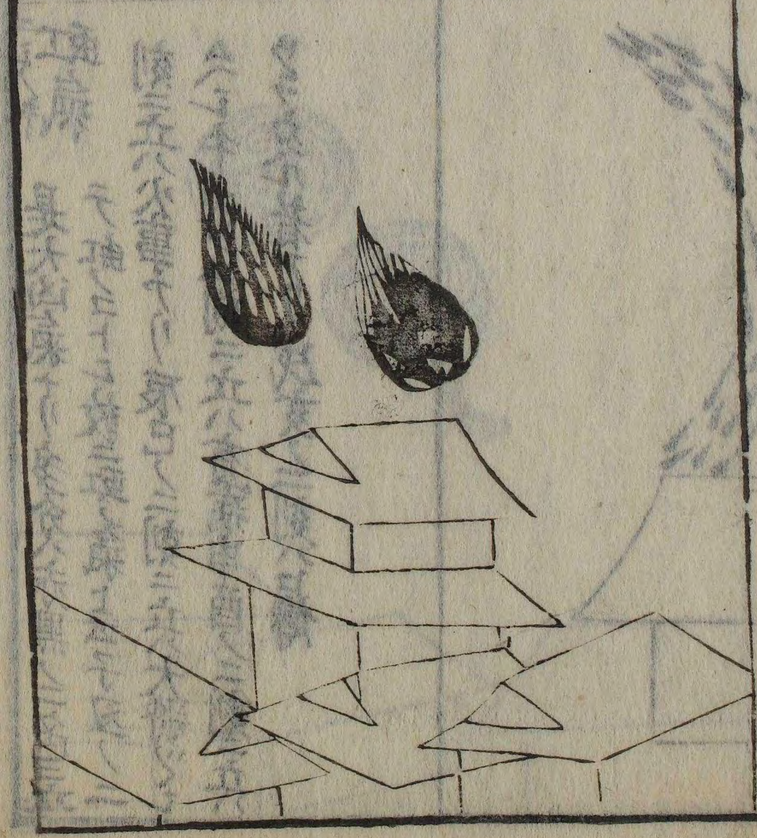
死氣ノキ
死色氣　如此ノ煙キレ〳〵ニ立聚必城陣共ニ大風ノ跡ヲ見ルコトクイキ ホヒナキモノ也故ニ死色ノ氣ト云々多分ハ大將討死スルトゾ然トモ大將ニ相生ノ色ナレ則無ヲ蒙ルトモ不死相尅ナレ則二日ノウチニ不思味方敗軍ヲ大將ウチ死スル也又云ヲヨリ辰ノ間ニ立則火事アルヘシ

ニジノキ
虹氣　是大凶氣ナリ多分ハ赤黒ノ二色ニ立テ虹ノコトニ故ニ虹氣ト云子刃ノ二刻ニ立ハ公事アリ辰巳ノ二刻ニ立ハ大將ツヽシムヘシ午未ノ二刻ニ立ハ有病申酉ノ二刻ニ立ハウラカヘル者アリ戌亥ノ二刻ハ口傳



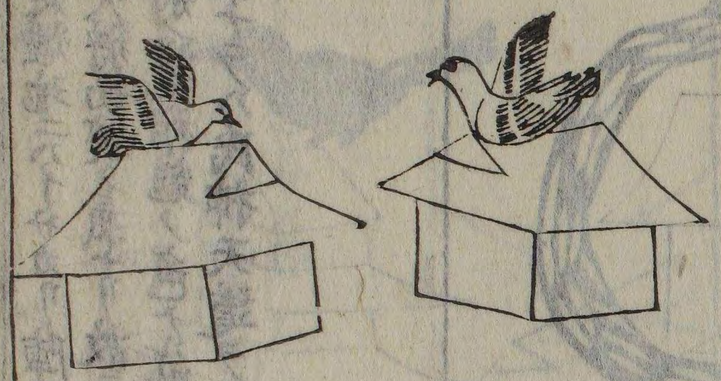
亡落氣（バウラクノキ）　如此煙立ヘ城陣ヲ壞ス事有ヘシ落氣ト云此色四季ヲ不ㇾ論白也

ウヨリ巳ニ至ル迄ニ立ハ必大將討死スヘシ午ヨリ酉ニ至ル迄ニ立ハ主將多ク亡ル、戌亥ノ二刻ニ立ハ三日ノウチニヤフル、也

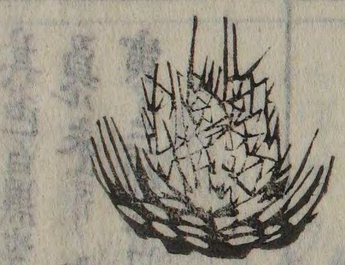


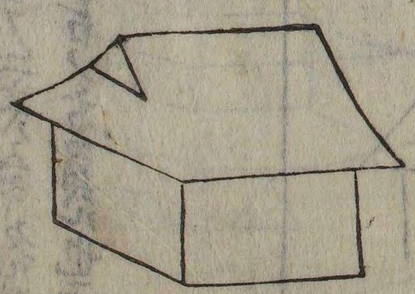
亡氣（バウキノキ）　如此煙立方夜討ニ破ル、事有ヘシ色青時ハ其夜ノ子ノ刻ヲツヽシムヘシ

黄ナル時ハ丑ノ時ヲツヽシムヘシ赤時ハ亥子ノ間ニツヽシムヘシ白黒ノ二色ニ口傳

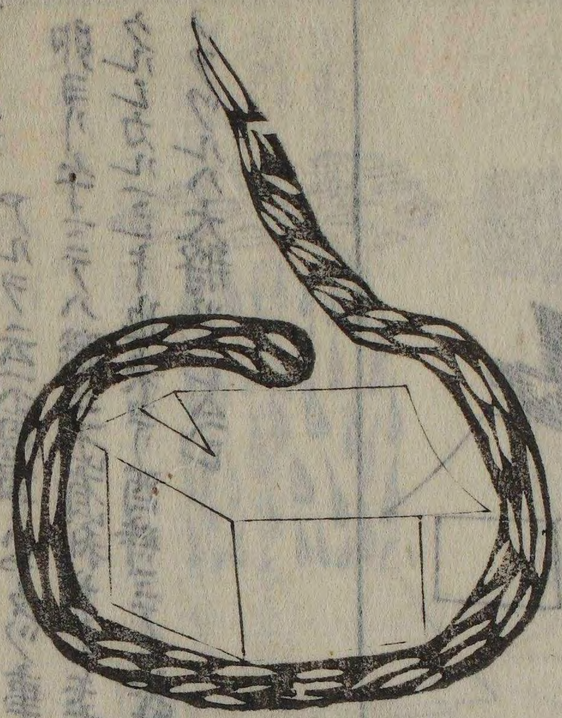


鳥氣（テウノキ）　是ハトリノクイアヒテヲフル夏アルヲノ云ニ恩軍ハヤタツ事有ヘシ卯ヨリ午ニ至ル迄ハ戰ニ不ㇾ有利サレトモ大將ハクルシカルヘシキ也未ヨリ酉時ニ至ル迄ニ如此ノヲフルハ大將ツヽシムヘシ





亡亂氣（バウランノキ）　如此天下城下ノ間ニムラノ落髮ノコトク氣立煙ノ升キ地ニヲフル則大將破滅ノ氣也故ニ亡亂氣ト云ツヽシムヘシ色黒ハ三七日ノウチ也白キ二口傳アリ

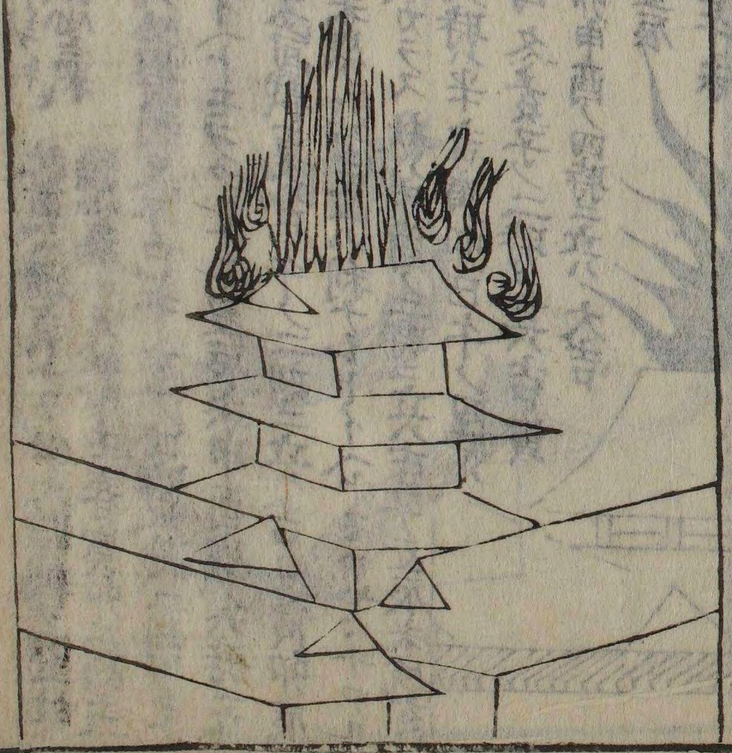


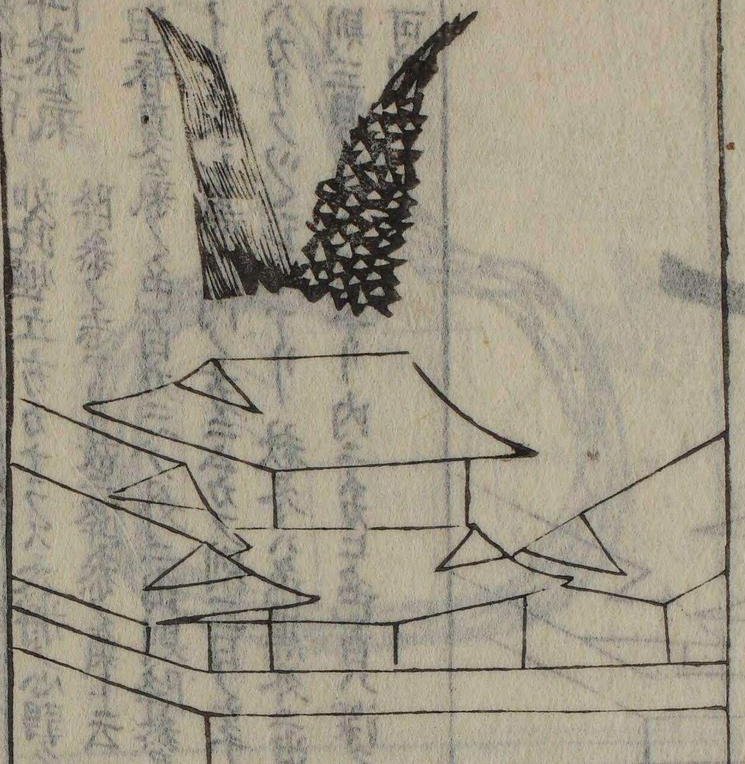
絶命氣　如是煙地ニハイサカリ陣屋ヲ巻ニシテ
一鳥ノ氣　鳥ノカタチノ氣立事アリ四季トモ
事大將功臆ノ氣ナリ故ニ絶命
氣十二云但大將ノ雖ニ相剋ノ色ナル時ハ勝テ
ニルニナシ相生ナラハ民神天道ヲイフノル
ヘシ口傳

其色白黒也卯ヨリ午ニテノ二交ハムキタル方
負ル未ヨリ亥ニテハウヒノ方ヲ負ル也子丑
寅ノ三刻ニ口傳アリ

降參氣　如此煙立方カナラス大將ノ心弱ク
降參ノ志アリ故ニ降參ノ氣上云
但春夏ノ氣ノ色白カニヘノ外ニ出則降參ノ
イフクヘシ黒ノ内ノ方ニムカフ則三日ノウチ
ハカリノツクシテシマフ　秋冬ハ色黒外ニ出
則三日ノツクシテシマフ内ニムカヒ色白ハ深ク
可凶

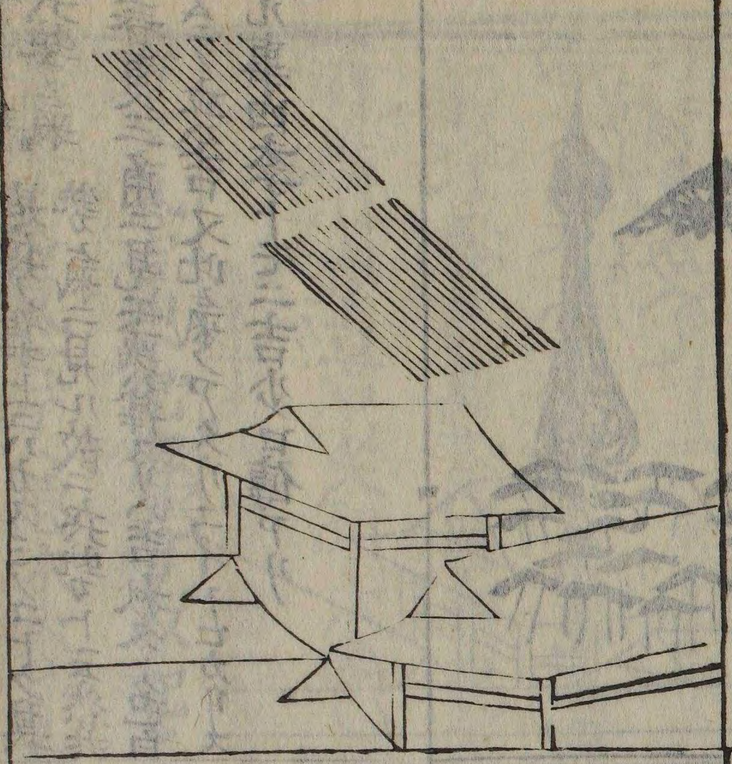
木火氣　如此律氣中ニ立其色青ヲ本ニシ
兩勝ノ死火三角ニ見ルヲ火ニトル
故ニ木火ト名ル也傳云木生火トニシトモ火ハ
木ヲ滅スル故善惡ノ二アリ　如此律氣中ニ立
兩方死火スル則其下ノ人早退ヘシ死火中ニ
立トキンハ吉氣トスル也



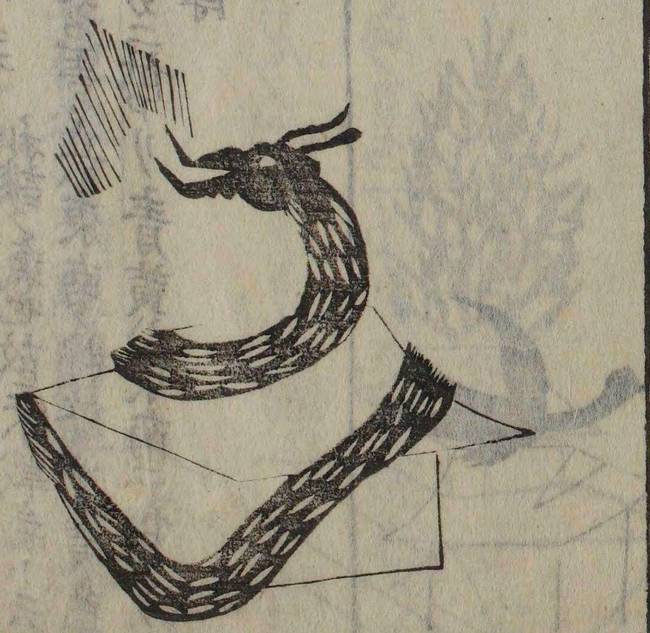


（シキ）人氣　如此煙立ハカナラス味方ニ來ル人多故ニ人氣ト云四季ニ赤黒ノ二色立也然ニモ巳ヨリ午ニテ二立ハヨロコヒアリ未申ノ二刻ニ立ハ口傳アリ夜ニ至テ立ハ大將ハカリコトヲナス也

（カウシンノキ）強心氣　此氣ハ煙氣ヨリ必大將戰ヲ望故ニ強心氣ト云秋ニモ春寅卯二刻ニ立ハ必得利又子巳午亥ノ四時ハ戰ニ利ナレトイヘトモヲクレナレ丑辰未申酉戌ノ六時ニ立不高戰夏ハ巳午ノ二刻ニ立ハ吉丑寅卯辰未戌ノ六時ニ立ハ利ナレトイヘトモアヤマチアルヘカラス秋ハ申酉ノ二時ニ立ハ吉子丑辰未戌亥六時ハ半吉寅卯巳午ノ四時ハ凶冬ハ亥子ノ二時ニ立ハ吉寅卯申酉ノ四時ニ立ハ大吉丑辰巳午未戌ノ六時ニ立ハ凶ヘシ色ハ四季ト七ニ春月白ニ吉黒凶但土用ハ黄ナレニ吉傳



（キンニヨクノキ）金色氣　此煙氣立方ノ將出テ戰ニトスル也ニカレトモ色青則出テ死色赤ハ大負也負少利ヲ得ル黄ニシテ光アル則得大利故ニ金色ト云黒ニ吉傳

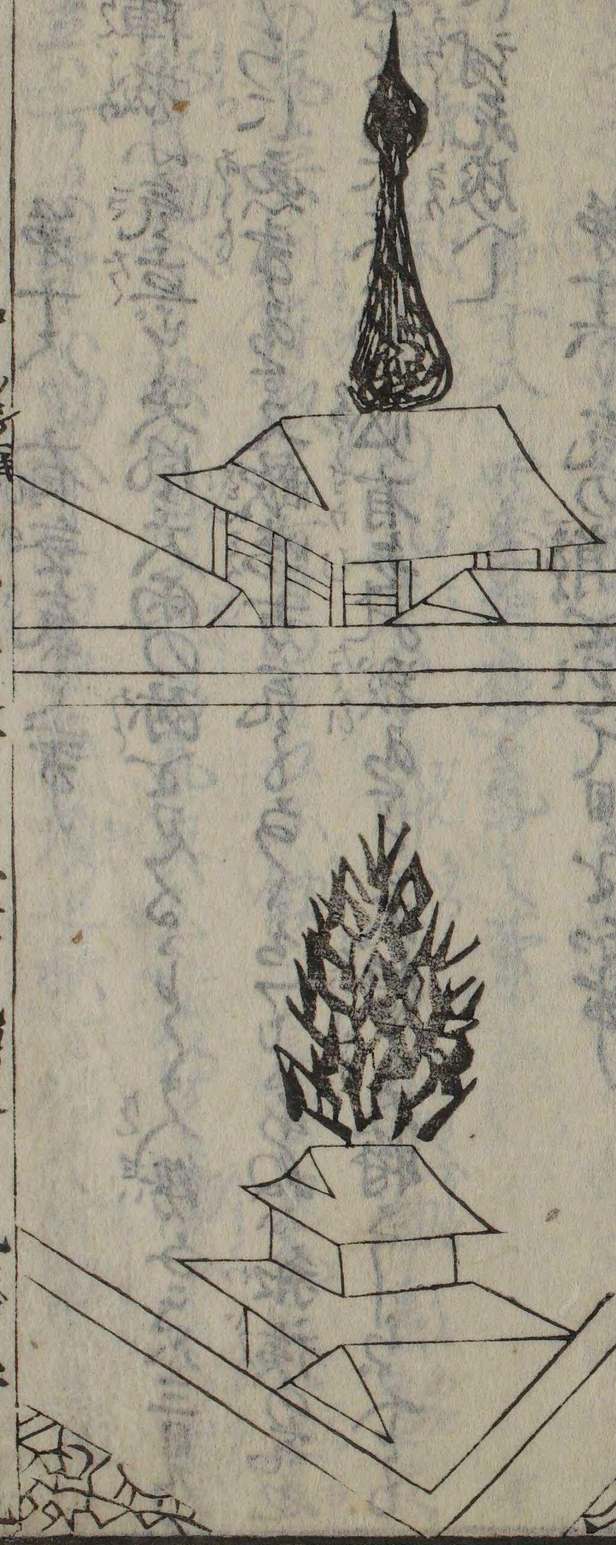


（ウンリョウノキ）雲龍氣　此煙氣四季ニ習アリ春夏龍ノカシラウツフキ尾アカル則ハ吉秋冬ハカシラウツフキ尾ノサカル吉又云此氣立時律氣立增ハ吉呂氣立增ニ吉傳アリ

ヒヤウセイキ
兵勢ノ氣　是兵ノ集上ニハカスニノコトク其勢ノ氣不戰氣　如此煙雲ト毛ニ敵陳方ニ同氣立ハ和談ノ氣也故ニ不戰氣ト云但春夏ニ角ニ見ル氣ニ兵勢カ十ニ分然共春夏ニ角ニ見ル氣ニ律スリハ吉秋冬ニ色白ムラ立ハ吉又此氣ノアタリニイナヒカリスル事四季トモニ吉少ロ傳アリ

センテノキ
穿天氣　如此煙氣立ハ大將カリコトヲスルヿ也故ニ心得早ク備ヘシ但辰ヨリ亥時迄ニ兵敵ヲ待テ有利戰ヨリ卯刻ニテ二兵ソンスルヘシ此氣ノ色四季トモニ白ハ吉黒ハ凶ヲトル相剋ナル則ハ可矣利又云巳午ニ刻ニ立ハ吉子丑ノ二刻ハ凶外ノ八刻ニ立事ロ傳アリ

ナンチクノキ
竹葉氣　如此煙氣立ハ大將カリコトヲスルヿ也故ニ心動氣トモ云色時ニ相生ナル則其心ヲトル相剋ナル則ハ可矣利又云巳午ニ刻ニ立ハ吉子丑ノ二刻ハ凶外ノ八刻ニ立事ロ傳アリ



右立氣吉凶ハ虎儛巻ヲ以記之者也但律氣ヨリ勝閻氣ニテハ吉ロ氣ヨリ降參氣ニテハ悪木火ヨリ付葉氣ニテハ半吉也

第十四　軍兵の色を見て吉凶を知事

一軍兵の色黒く人数多く見ゆる方ハ強し。赤くみえる方負

第十五　有無氣を知事

一陣場の気立ぜず。大風大雨の砌ハ人勢みえ、三日乃
うちに変事あり。又敵味方気くもりあぬか。和談の気也
あとも互に多くハ必有事より戦ひ。大将と大将さしづくとも
に討死成へし

第十六　気の消を見て日を知事

一気消を見て日を知る。気のまよより消る。十五日
乃うち也。ゑよりきりハ。三日のうちにもどる

第十七　調子の羽は

一軍の調子ハ貝のひゞきを聞云也。急ニ。天より少へまなり
負也。地ふひゞくハ勝也

第十八　四季の相應を知事

一人高大気のごとく多ハ方負也。又地ひゞきして下の声た
ゝみかけ〳〵ハ陳場しともふ猶也

第十八　四季の相應を知事

一陣中ハ春ハ青色の気立ハ。夏ハ赤気立。赤黒
の気立ハ則陳取て七日のうち働へし。秋の陣ハ冬の気立
立ハ。七日の中ハ働へし。白色立ハ順也秋ハ終て可働
立ハ。冬ハ終て働へし。秋の陣ハ冬の黒色

第十九　兵法気しるし

一人まてやみ給ハゝ。後よりにげかたより我をう

うごかんとするとき必ず二郤に反ハ不善そうあまり
阿諛ともお和。あるうにるれなく
必。早く備を立。敵まうり審ふそびくすべきもの也
一百か里のち兵時。里の出てる者ハ先ハ
里なきまへ行べうず雲お和。雲党てうよびて
第二十 籌のく吉凶し事
一かごつのさきニつみと色。色の白を凶なり
一かごと大胸れもんもの。兵なくもゆうくとかうくもゆうを凶。かそく
とそ。とんたりふ天とするを吉也と云也
一籌の数ましりみの立てり矢たを立うく。黒ゆんゆうり。是を
同兵気と云。大凶。必明ふの軍ふ大負ふべし

第二十一 八陳気吉凶之事

一魚鱗陳を取て八七目のうちに
て八。其の手を遠角。必打し陣七てる立を大吉。玄天上して赤立ハ。
陣の気いみしすぐにして
放ふ色返給て働へ。又死火のとく地ふ付ささ川上くびく
八敵の方ふ必勝の二可凶。川下へそでる時八敵ほ方の陳を破る
三日の内也可怪之
一鶴翼陳をる又八田局を前後ふ垂て取へ。山陣を取
て三日七日うちふ気の吹ふり。敵ふ動陳を破ふ也可怪。山陣八秋冬用へ。
う十日ふ内。敵ふ動陳を破ふ也可怪。山陣八秋冬用へ。
玄箕八東へうす。山陣の気まるハ。女日の内ふ破ふとく

知べし。うもてうくして更に
此七日の中よりを切りべく
一徹軽阿ど士用ふ勇べし。是を
乃中に破る也。雨ふり雷ふり
天上すること。死穴乃時なり
一便月陳八山て前ふ見。川を渡ふ流して取べし。是を取て
此白を働べくば。他三日のうち雷ふ
白を也。必こゝろくよりくやく動八ふ負討死する者多し氣
白くして三日の中ふ働八得利也 雨川へ及ひ八はてゝび
もて大吉川上へるひく八浮よりて敵よの
焼拂なり。いつまても三日の中ふもつべき也

一乳原行陳交用てよし。此陳ふ
うちふ雨ふり風吹ハ。敵火を付ること
て家ふなるべし。七日の中に破る也天上白則不破。氣ず
みやうに上てふへ切也 なびかぬ
二方向陳八敵城を東ふ見て大吉前に水をの
一。秋云山水ふくとも。陳の前後ふ
路のる八方向ふ。い氣つよく天上して色こゝろ八破る也色う
すく早く消ハ。必七十日のうちに一報して城をやぶる
利をうる也
一陣矢陳ハ何ふもふても王す方ふ敵ありて働て勝利也。七日中雨ふる八大

凶気ありて天兵大吉也。立上ては中陣を開くべき
長蛇陳ハ斜原行鶴翅よむろの取也。七のうち西より風吹
ハ大吉也。是に変ずるハ凶。天上すれば吉。但四
方の中ハ吉のみへ。若左右なくハ陣を取へ
からず事

第二十二　八陳習ふべし。前の九さハ鶴翼ありのごとく
水前ハ流るを奥鱗ともなづく
なるハ縛矣。山前ハ行ハ方向山をのがれ
けるハ偃月水を東にうけたるを衡軛。山ありて
井原行と知べし

第二十三　敵の大将の姓を知る
法
森林ありてひろびりとハ大将木姓ニ庚辛七方よりうつ
ものうつ音せハ金姓の敵よ壬癸のごとく気
水ニ似て救うつ音ハ水姓乃敵也。戊己方より
をして甲乙方より取巻へきなり

第二十四　旗吉凶ニて敵を知る
法
一も陣の時の旗ハ持取人下りて
も出ニたのもすて上ハ大吉ニ。旗指ん所可ニ
味方の旗ハ敵の矢立て時ハ
の旗ハ村立たるハ人ハまよひ
敵の旗を味方へうごかすなり

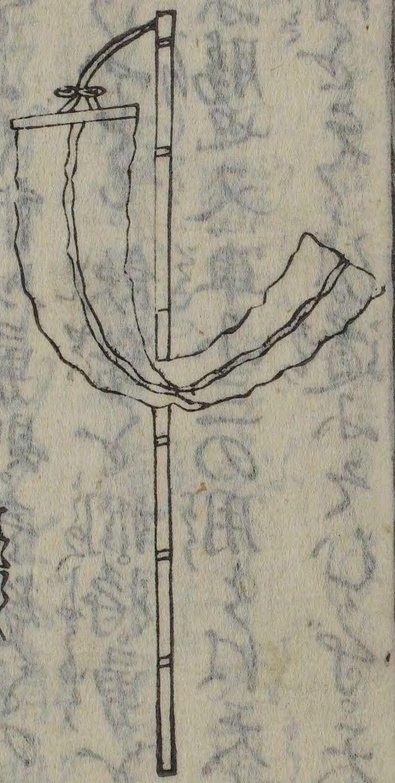
打ち上にうごく。上に九字を切りてべきなり

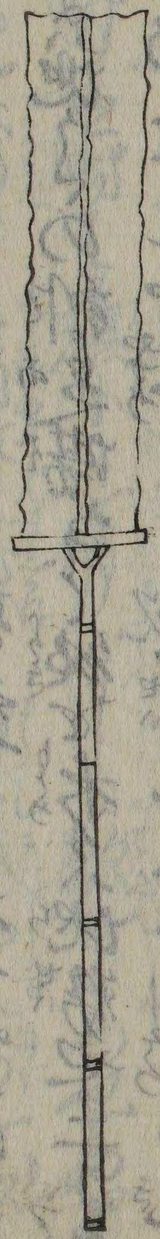
一旗打ち上る吉凶。吉方ハなり打ち下ル凶。気ハまよひ有

若旗手左へ廻ハ我久しくして有勝利

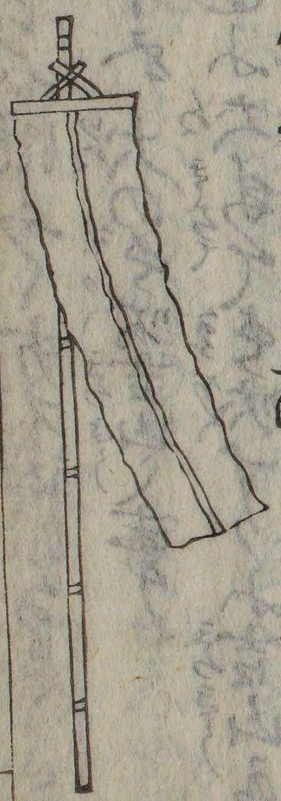
若左へ廻ハ勝事眼前なり

若廻ハ旗の気ゐるまでハ働べし





如此天上セバ。一旦の力ハ働候へなびくハ。働早くすべし敵のまけるの。凡みそあぐるこ



如く旗のさらぬ風にて方不凶。風のきそくは凶なり

第二十四　大のもの吹吉山と事

一陳色の近きよりたゞもの吹すゝみ吉山の。答て吹吉山と事

今ゝく相剋ハ勿。お色ハよりの

右気の見やう吉凶をよく勘知べし。是軍の勢と云のみ。一よく地の形。是爰をよくしり地勢元をよくしるとも。飲物を調。將勇をそなへ。士卒志ゝめ。ほれをはなれる八飲物也。二ふ士卒の氣勢也

気地勢飲物をよく調以勇則。気勢をのばらる也。別

天の利ハ方角時をえらび。道ふそむかず。天を信則。よく

時を得。勇ありと八軍をよくはらう。よき地をもとめ。敵をうつの地をえらぶ。よき地をもとめ。気勢みて軍ふ勝也又軍ふ勝ハ天の利ハ方角時をえらび。道ふそむかず。天を信則。よく

天地あらそはず。いまだ勝ずんバあるべし。それ気をうるの法。吉凶をしりて消敵之。是ハ謀をもつて城ふ戒士を實不知。是ハ勇ふ戒士を實不知。是ハ勇ふ戒士を實不知。是ハ勇

菩薩化皆悉恵堪と三遍唱ふ。天聲印して。左の真言三遍となつて。の内へ息を吹入神合て胸おうるを。観念可納也

第二十七　摩利支天大秘法之事

迷故三界城悟故十方空本来無東西何處有南北三返唱ふ。此の心

おん　あびらうんけんそわか

此の心を観ずるなり。三返

唵二リ三イソカト三遍唱可出陣。大将羽表者おいてうつて

武運長久の祈也

第二十八　抜の秘密の事

一寸ほどの大の字を左の手の内に書て。右の手の内に

一抜の印を結び。九字を唱ふ。此の九字を書ては。我が方へ成てねつこ秘の事

うちさけく白ことまでく

り打ぐろを書まく。弥とも左の二の秘法をきたき時

一日前より三遍唱べし

知法也。可秘く

第二十九　に留秘密之事

一日前より師の名をひやびて。ほめて。抜ふことをよべ

秋津洲みすそ川のうるはしき人なれみて

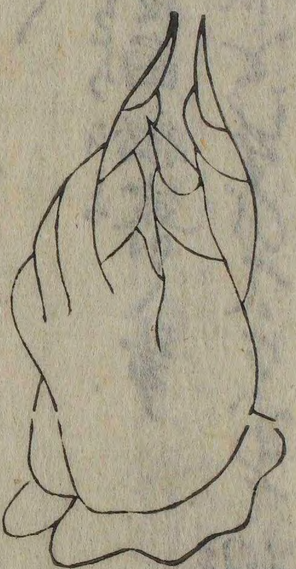
わつなわをうつと三遍

右之事口傳み有也。又抜密の浄堂いはごとく

必大将名をさしみの人

第三十　出陣秘法之事

一國の大事なり。卵のみむひ國を取て。軍乃吉凶を知也右の
ふ圖をおもて。左のふ圖を考へ。九宮七十返。或七返
三返かへしもとの。ふ圖をたゝんうへ。右のふを仰にて
日天のむひ。二文字をかき。日のまるうふ。永ゐ九つまでをん
ひとび臨兵闘者皆陳烈在前と。ふ唱也



山ゐを左の眼にあて。唵レイタラクタラウンソハカト七返滿うちに
日と我との間を鳥通するやうにべーくすむひて行方更ゐ
ふむひまゐ味方の大將討死迚。日の方むひふ。敵乃大

將うち死。者日ゐ加るゐ通らバ七日のうちに生馬無。河もと
もゐずバ。百日のうちに軍をしてバ也

第三十一　武士不負等之事

一我陽ゐく先外師ふ印を以て。此文を可唱
止々不須説我法妙難思諸増長慢者門必不驚心
可唱。其日疵ちをかうふむび。箭も多ふあゐるもの。大將士
卒ともふ。敵ふおゐんとおもふ。是を合ずべし。大摩
秘なり。是張良黄石公ふ傳授するの秘法也

第三十二　義經秘傳之事

一大るのおを通阿ふ琴を乙王ふむゐて紙ふ書記りて
ゐふ付て。唵キルく二タウンやクアセイワ分ト七返。九字

七返。密すの時。敵前を通るみ箭を劔の鋩をのがし。
営るも者ると山路。人を方を行ハ必ず一。於談馬
義經。老宮山大。即坊よるひ經ことを

第三十三　人を留秘法ある

一人を面汚ハ。門の内。方ゟ

薜荔留留眞隠隠如律令

南無光明天王ソ分
南無五大力菩薩

右を庚甲日。掾。を葉ゟ紙重て書也。又竊盜不審のせんさく
をせハ。先ハそゟ兎を出て押へし出るものを也。以前ハ日輪
聖人箱根捻現ゟり相傳ことを於ハ得

第三十四　盜賊悪黨を防術ある事

七月七日巳年の時ゟでの手の數ふを。九字を云同十三日ゟ
細まして糊して丸。敵のすの方へ背則。盜賊不來。
疫病ものがるる。九字の數三百六十返。初ハ二万返可唱

第三十五　吾妻を敵ゟ不見術ある事

一初產のその袍衣を。うもひ取て。百日の内九字一日
ふり返つと。袍衣を後手にする。扨乃生汁を取
六すの時ゟもる里にさしべ。たのび敵討の大將或ハ物え
今て兎を取して敵の眼ゟ欺すること而ら詮なし。但し
がひのみる又ハ郭敬のたゟよ用之也。天罰あり。常よりも
狼藉あるともに捕ゟ道する事

第三十六　首を捕ゟ也

一看々々そう業南無蕪礙有
離れそうせとう道導して。首
可」言。めひすれかいうるもやし
ず。むくいざるり

第二十七　道導敵を調伏す事

一朝八東方向西。死人の誌のまう
外縛して文を唱ク

純死者八純死治国相を
そなう敵を左のてよおそ。左
安。彼死人を後みて。七返志
返。次よ迷故の文を唱て。
三度。左ふ廻て死人を後よ
く。そそものく捨ろ也。
右気巻八源義経秘極とす
之者也。又云香を焼て吉凶
ハ則ち偽みあらぐれだ得
侍用集巻第十二終

右気巻の中より校生
虎俗
ふ虎俗巻の中より校生
敵を
ろ
捨ろ也。
良ろ
偽也
之者也。又云香を焼て吉凶を見る法ろ也。則香煙気と号
ハ則ち偽みあらぐれだ得ず。て板ふ聚之者也

右十二舁者抜萃之流之與育分誌近代之勝負者也其如道具軍禮等於諸家風儀有所不定今手取平昔見聞之吉例撰之敢非以臆說誣人矣至功者待用評定之三部最集古今雄士佳言皆以爲極秘萬當之要術非其人者決輕易莫示之恐有天譴云爾　小笠原　昨雲入道　在判

昔元和四戊午年中夏吉日

寛文四年二月日中村五兵衛尉

国文学研究資料館
175100
平成23年3月25日

The « Gunpô Jiyôshû » is a japanese collection from 1664, gathering various warrior traditions of the time, in 12 books.
You will find here all of the complete 12 books.

Here is the 12 books index :

Book 1 : Questions and answers about bravery.

Book 2 : About preparation to battles. (First part)

Book 3 : About preparation to battles. (Second part)

Book 4 : About preparation to battles. (Third part)

Book 5 : About the weapons and the tools.

Book 6 : About shinobi / ninja. (First part)

Book 7 : About shinobi / ninja. (Second part)

Book 8 : About shinobi / ninja. (Third part)

Book 9 :About lucky and unlucky day, time and direction. (First part)

Book 10 : About lucky and unlucky day, time and direction. (Second part)

Book 11 : About lucky and unlucky day, time and direction. (Third part)

Book 12 : About *ki* (*chi* or *qi*).

For information, these 12 books of the « Gunpô Jiyôshû » have been fully published and translated in modern japanese in a single book, during the year 2001, by the japanese publisher Perikansha :

https://www.amazon.co.jp/%E6%88%A6%E5%9B%BD%E6%AD%A6%E5%A3%AB%E3%81%AE%E5%BF%83%E5%BE%97%E2%80%95%E3%80%8E%E8%BB%8D%E6%B3%95%E4%BE%8D%E7%94%A8%E9%9B%86%E3%80%8F%E3%81%AE%E7%A0%94%E7%A9%B6-%E5%8F%A4%E5%B7%9D-%E5%93%B2%E5%8F%B2/dp/483150971X

Auteur : Ogasawara Sakuun (小笠原　昨雲)
Titre en langue originale : « 軍法　侍用集 »
Titre en japonais : « Gunpô Jiyôshû »
Titre en français : « Recueil des techniques guerrières des samouraïs »
Titre en anglais : « The collected way of the samurai military arts »
Année : 1664

Le « Gunpô Jiyôshû » est un recueil japonais datant de 1664, compilant diverses traditions guerrières de l'époque en 12 cahiers.
Vous trouverez ici l'intégralité de ces 12 cahiers.

En voici le sommaire :

Cahier 1 : Dialogue sur la bravoure.

Cahier 2 : Sur la préparation aux batailles. (Première partie)

Cahier 3 : Sur la préparation aux batailles. (Deuxième partie)

Cahier 4 : Sur la préparation aux batailles. (Troisième partie)

Cahier 5 : Sur les armes et les outils.

Cahier 6 : Sur les ninja. (Première partie)

Cahier 7 : Sur les ninja. (Deuxième partie)

Cahier 8 : Sur les ninja. (Troisième partie)

Cahier 9 : Sur l'astrologie et la divination traditionnelles (jours, heures et directions favorables ou défavorables). (Première partie)

Cahier 10 : Sur l'astrologie et la divination traditionnelles (jours, heures et directions favorables ou défavorables). (Deuxième partie)

Cahier 11 : Sur l'astrologie et la divination traditionnelles (jours, heures et directions favorables ou défavorables). (Troisième partie)

Cahier 12 : Sur les manifestations de l'énergie vitale (le *ki*, *qi* ou *chi*)

Pour mémoire, ces 12 cahiers du « Gunpô Jiyôshû » ont été intégralement retranscrits et publiés en japonais moderne en un seul livre, en 2001, par les éditions japonaises Perikansha :

https://www.amazon.co.jp/%E6%88%A6%E5%9B%BD%E6%AD%A6%E5%A3%AB%E3%81%AE%E5%BF%83%E5%BE%97%E2%80%95%E3%80%8E%E8%BB%8D%E6%B3%95%E4%BE%8D%E7%94%A8%E9%9B%86%E3%80%8F%E3%81%AE%E7%A0%94%E7%A9%B6-%E5%8F%A4%E5%B7%9D-%E5%93%B2%E5%8F%B2/dp/483150971X